

評価項目3 (体力・健康に関すること)

重点目標		○オリンピック・パラリンピック教育に基づいた、体力向上にむけた系統的な取組。 ・学校公開や授業公開、ゲストティーチャー、地域資源の活用 ・スポーツ指導者やテクニカルアドバイザーを活用したイベントの運営 ・PTA、地域行事への参加		
評価指標	最上段:成果指標	最上段:成果指標の達成状況の説明	評価	今後の課題と改善策
	2段目以降:取組指標	2段目以降:取組指標の達成状況の説明		
①	学校は、体育授業、体育行事、食育などを充実させ、体力づくりを推進している。	体育主任やテクニカルアドバイザーとオリパラを含めた体育の授業内容の打ち合わせが充実していくことが重要ではないか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・食育について、1、2年生が旬の野菜等について指導を受けているため、引き続き行う。 ・テクニカルアドバイザーと事前に授業検討する時間を設ける。オリパラコーナーを玄関前に設置する。 ・テクニカルアドバイザーと授業内容の打ち合わせをする。 ・アレルギーの確認が形式だけになっているように思える。もう少し、意識を高める方法はないか。
	オリンピック・パラリンピック教育の推進を図っていく。	食物アレルギーの点検を毎朝、実施。食育授業は、3・4年生。オリパラコーナーが、来校者にわかりづらい。	B	
②	学校は、地域や外部人材を積極的に活用して、教育の効果を上げようとしている。	地域コーディネーターを次年度から活用する。まちのひとに学ばずやGTを活用できているのではないか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保幼小の連携や図書ボランティア、PTAなどとの窓口の役割を、地域コーディネーターにも担っていただき、より円滑な活動を行えるようにする。外部人材を活用した授業等についても、よりよい活動を行うために、地域コーディネーターから最新の情報をもらって内容を更新する。 ・教員間で情報を共有し合い、よい取り組みは、次の学年でも継続していけるようにする ・実際に授業を行う前や行った後に夕会等で実践報告を行い、有効性を紹介していく。 ・地域コーディネーターの守秘義務の確認をしたい。
	地域の人材や教育資源を取り入れた教育活動に関する年間計画に沿って、実践する。	次年度からの計画を検討中。一部の教員の理解にとどめず、全教職員が理解していくことが必要であり、一部の教職員の偏見があると地域COが仕事をしづらくなる。	B	
③				

A=十分達成できた B=おおむね達成できた C=未達成